



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社

コード番号 4958 URL <http://www.t-hasegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	11,655	1.0	1,009	△30.8	1,079	△34.9	745	△36.1
29年9月期第1四半期	11,542	3.0	1,458	61.0	1,659	82.8	1,166	63.4

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 3,097百万円 (△0.3%) 29年9月期第1四半期 3,105百万円 (80.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	17.57	17.55
29年9月期第1四半期	27.49	27.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	111,570	89,833	80.4
29年9月期	109,836	87,528	79.6

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 89,746百万円 29年9月期 87,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	16.00	—	19.00	35.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	17.00	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,600	7.5	5,880	4.9	6,210	1.8	4,320	0.5	101.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期1Q	42,708,154株	29年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	269,819株	29年9月期	281,719株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期1Q	42,429,410株	29年9月期1Q	42,426,855株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。これに伴いセグメントの業績におけるセグメント利益又は損失の前年同期比較においては、遡及適用した前年同期のセグメント利益と比較を行っております。詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご覧ください。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調にあったものの、中国や新興国経済の減速、米国の政策運営の不確実性、地政学的リスクの高まり等により、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

また、2017年6月に新たに連結子会社となった米国のFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの売上も当社グループの連結経営成績に寄与いたしました(前年同期は実績なし)。

この結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は11,655百万円(前年同期比1.0%増)と増収となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比2.0%の減収、海外連結子会社の売上高は、長谷川香料(上海)有限公司が前年同期比1.7%の減収(現地通貨ベースでは同8.1%の減収)、T. HASEGAWA U.S.A., INC.が前年同期比13.6%の増収(現地通貨ベースでは同9.9%の増収)、マレーシアのPeresscol Sdn. Bhd.が前年同期比11.9%の減収(現地通貨ベースでは同18.0%の減収)となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、T. HASEGAWA U.S.A., INC.の売上が増加するとともに、FLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCの売上が寄与したものの、当社及び長谷川香料(上海)有限公司の売上が減少したこと等を主因に前年同期比0.6%減少し、9,807百万円となりました。

フレグランス部門は、長谷川香料(上海)有限公司の売上が増加したこと等を主因に前年同期比10.2%増加し、1,848百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上原価率の悪化による売上総利益の減少、並びに販売費及び一般管理費の増加を主因に前年同期に比べ448百万円(30.8%)減少し、1,009百万円となりました。経常利益は営業利益の減少並びに為替差益の減少を主因に前年同期に比べ580百万円(34.9%)減少し、1,079百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ420百万円(36.1%)減少し、745百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

①日本

売上高は8,772百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益は878百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

②アジア

売上高は1,939百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益は160百万円(前年同期比51.8%減)となりました。

③米国

売上高は1,242百万円(前年同期比40.4%増)、セグメント損失は32百万円(前年同期は31百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が23百万円、商品及び製品が410百万円、原材料及び貯蔵品が49百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,261百万円、仕掛品が99百万円、未収入金など流動資産その他が59百万円それぞれ減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度末に比べ938百万円減少し、47,756百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、償却が進行した結果、有形固定資産が85百万円、無形固定資産が76百万円それぞれ減少しました。また、投資その他の資産が、株価の上昇に伴い投資有価証券が増加したことなどにより、2,834百万円増加しました。これらを主因に、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,672百万円増加し、63,813百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、預り金など流動負債その他が306百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が160百万円、未払法人税等が493百万円、賞与引当金が938百万円それぞれ減少しました。これらを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ1,355百万円減少し、9,179百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、退職給付に係る負債が30百万円、長期未払金が67百万円それぞれ減少した一方で、株価の上昇などにより繰延税金負債が880百万円増加しました。この結果、固定負債は前連結会計年度末に比べ784百万円増加し、12,557百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、その他有価証券評価差額金が1,938百万円、為替換算調整勘定が405百万円それぞれ増加した一方で、利益剰余金が60百万円減少しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度末に比べ2,304百万円増加し、89,833百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,802	10,825
受取手形及び売掛金	16,893	15,631
有価証券	5,999	5,999
商品及び製品	6,530	6,940
仕掛品	160	60
原材料及び貯蔵品	6,004	6,054
その他	2,313	2,254
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	48,694	47,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,953	17,800
その他(純額)	13,291	13,359
有形固定資産合計	31,245	31,159
無形固定資産		
のれん	3,885	3,812
その他	3,923	3,920
無形固定資産合計	7,809	7,733
投資その他の資産		
投資有価証券	21,202	24,029
退職給付に係る資産	18	19
その他	922	928
貸倒引当金	△57	△56
投資その他の資産合計	22,086	24,920
固定資産合計	61,141	63,813
資産合計	109,836	111,570
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,540	5,380
1年内返済予定の長期借入金	4	2
未払法人税等	839	345
賞与引当金	1,264	325
役員賞与引当金	67	—
その他	2,818	3,124
流動負債合計	10,534	9,179
固定負債		
長期借入金	4	1
繰延税金負債	4,012	4,893
退職給付に係る負債	6,631	6,601
資産除去債務	70	70
長期末払金	997	929
その他	56	61
固定負債合計	11,772	12,557
負債合計	22,307	21,736

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,292	7,295
利益剰余金	62,438	62,378
自己株式	△323	△309
株主資本合計	74,772	74,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,435	14,373
為替換算調整勘定	468	873
退職給付に係る調整累計額	△237	△229
その他の包括利益累計額合計	12,665	15,017
新株予約権	90	86
純資産合計	87,528	89,833
負債純資産合計	109,836	111,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	11,542	11,655
売上原価	6,986	7,196
売上総利益	4,555	4,459
販売費及び一般管理費	3,097	3,449
営業利益	1,458	1,009
営業外収益		
受取利息	9	13
受取配当金	24	26
為替差益	173	14
その他	19	17
営業外収益合計	226	71
営業外費用		
支払利息	2	0
設備貸貸費用	21	—
その他	0	1
営業外費用合計	24	1
経常利益	1,659	1,079
特別利益		
投資有価証券売却益	55	—
特別利益合計	55	—
特別損失		
固定資産廃棄損	17	28
特別損失合計	17	28
税金等調整前四半期純利益	1,698	1,051
法人税等	531	305
四半期純利益	1,166	745
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,166	745

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,166	745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	290	1,938
為替換算調整勘定	1,639	405
退職給付に係る調整額	8	8
その他の包括利益合計	1,938	2,351
四半期包括利益	3,105	3,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,105	3,097
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,782	1,903	856	11,542	—	11,542
セグメント間の内部売上高 又は振替高	166	96	28	291	△291	—
計	8,949	1,999	885	11,834	△291	11,542
セグメント利益	1,020	334	31	1,385	72	1,458

- (注) 1. セグメント利益の調整額72百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額19百万円、たな卸資産の調整額53百万円、その他0百万円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,614	1,816	1,225	11,655	—	11,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	158	122	17	298	△298	—
計	8,772	1,939	1,242	11,954	△298	11,655
セグメント利益又は損失(△)	878	160	△32	1,006	3	1,009

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額3百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額23百万円、たな卸資産の調整額△20百万円、その他△0百万円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、当社グループの主要な経営管理指標を経常利益から営業利益に変更したことに伴い、セグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益については、上記の変更を踏まえて作成した情報を記載しております。